

NUCプレスリリース

理想は“調和ファースト”
着る側・着せる側・見る側
快適性 おしゃれ 可愛らしさ

「女性活躍服®（ユニフォーム）に関する意識調査報告書」発刊

公益財団法人日本ユニフォームセンター（NUC、理事長 石井銀二郎）は、平成28年度の調査事業として、働く女性の制服に関する意識を調査し、その結果を報告書としてまとめました。今回の調査は、「インターネットによるアンケート」及び「直接意見を聞くグループインタビュー」で行いました。

報告書は「女性活躍服®（ユニフォーム）に関する意識調査報告書」として4月に発刊いたします。



少子高齢化からくる総人口の減少による労働力の不足は社会的に大問題となってきます。一方政府方針では、女性労働力の活用を推進しています。女性の労働意識の高まりから、就業を望む女性が各産業に亘って増加傾向にあります。女性の活躍ぶりにますます期待が高まって来ました。こうした中で、女性が働きやすい職場環境を整備する企業・自治体や団体が加速度的に増えています。

これまで、ワーキングユニフォームは男性を優先に検討してきましたが、女性用のユニフォームの検討見直しも重要視されています。その証拠に男性用を代用するのではなく、女性専用の作業服を採用する動きが相次いでいます。この傾向は、さらに大きく広がる趨勢になります。そこでNUCは、“女性活躍服”をテーマに、様々な提案を行うこととしました。

今回の調査は、女性が職場で働く時の適切なユニフォームを開発するための基礎資料を収集することを目的とし実施いたしました。

内容はユニフォームの着用状況から始まって、選択する際に重視する要素と素材の機能、制服の効用に対する考え方、着用している満足度などを尋ねながら、「ありがたい」あるいは「あるべき」ユニフォーム像を描いてもらいました。

アンケート調査の対象は全国の建築、製造、運輸、卸売・小売業及び公務・その他など16業種で、企業規模別に分けて行いました。グループインタビューは、首都圏内（東京都及び神奈川、千葉、埼玉）の各県に在住する20～40代の女性が対象です。業種はアンケートと同様です。

意識調査の結果のポイントは、ユニフォームの着用比率は高いが、着たいユニフォームと間には、なお乖離があることが浮き彫りになりました。また、ユニフォームそのものの品質以外に、男女間の公平さ、「着る側」「着せる側」そして「見る側」を含めた選択ないし決定の在り方にも多くの改善が必要との意見が寄せられました。

【結果のあらまはは次の通りです】

- ◆ 全体の着用率は約6割と半数を上回り、そのおよそ9割が着用を義務付けられています。夏服、冬服及び通年服の3シーズンのうち、通年服の割合が9割超となっています。
- ◆ 全体の着用年数は平均7.6年でした。産業別には「公務員・その他」の11.4年が最も長く、最も短いのは「金融・不動産業」の3.9年でした。
- ◆ ユニフォームを選定する際に、着用者の意見が「反映された」は4割弱に止まりました。意見が「反映された」が最も高かったのは「建築業」の66.7%で、逆に「されていない」「公務員・その他」で86.9%です。
- ◆ 男女全く同じデザイン（色柄）、素材。サイズ展開（ユニセックス）のユニフォームを着用している回答は4割強で、最も多くなっています。
- ◆ ユニフォームの効用では、識別性、経済性、公私のケジメなどでの評価は高いものの、人材確保の上での効果はあまり認められていません。
- ◆ 制服を選定する際に重視する要素は、「デザイン（型）」が45.0%と最も高く、これに「動き易さ」「素材の機能性」が続きました。
- ◆ 着用しているユニフォームの満足度では、半数以上が「やや」を含めて満足しています。具体的には「縫製」「動き易さ」「洗濯などの手入れ」での満足度が目立ちます。
- ◆ 素材の満足度では、「透け防止」が高い反面、「抗菌・防臭・消臭」「ストレッチ性」「汚れ防止」は低くなっています。
- ◆ 理想としているユニフォームは、「快適性」が筆頭でした。以下「おしゃれ」「可愛くて、女性らしい」「洗濯しやすく、ノーアイロン」「機能性に優れる」「通気性が良い」「汚れが目立たず、汚れが落ちやすい」などの順でした。

《女性活躍服。(ユニフォーム)に関する意識調査報告書》の構成

序 章 調査概要・調査結果の要約

第1節 調査概要

第2節 調査結果の要約

第1章 ユニフォームの着用状況

第1節 現況

第2節 着用者の意見反映状況

第3節 男女ユニフォームの分け方について

第2章 重視する要素と素材の機能

第1節 重視する要素

第2節 重視する素材の機能性

第3章 ユニフォームの効用に対する考え方

第4章 現在着用しているユニフォームに対する満足度

第1節 総合満足度

第2節 満足・不満足の原因

第3節 理想のユニフォーム

第5章 「“素敵”を求めて」グループインタビュー

<結び>

<資料編>

【報告書の体裁】

タイトル 「女性活躍服®(ユニフォーム)に関する意識調査報告書」

編集・発行 公益財団法人日本ユニフォームセンター

発行人 石井 銀二郎

体裁 A4判約141ページ

定価 12,000円(税込)(会員価格10,000円)

発行日 平成29年4月1日

【お問い合わせ先】

公益財団法人日本ユニフォームセンター (NUC)

電話 番号 03(3401)2111 FAX 03(3402)2667

平成29年 月 日

申込 FAX:03-3402-2667

E-mail : kenkyu@nuc.or.jp

(公財)日本ユニフォームセンター
意識調査担当係宛

『女性活躍服。(ユニフォーム)に関する意識調査報告書』申込書

定価	12,000 円 (消費税・送料を含む)	申込冊数	冊
会員特別価格	10,000 円 (消費税・送料を含む)		

会社名			
部署名・役職	部署名	役職	
氏名			
メールアドレス			
TEL/FAX	TEL	FAX	
住所	〒		

振込先	口座名義	公益財団法人日本ユニフォームセンター		
	銀行振込先	三井住友銀行 赤坂支店	普通預金	6325117
		みずほ銀行 赤坂支店	普通預金	1591320
郵便振替	00140-2-97657			

- 発送開始は4月1日以降を予定しております。
- 購入ご希望の方は申込書をご記入の上、FAX またはメール送信してください。
請求書を発送いたします。恐れ入りますが振込み手数料は御社にてご負担下さい。
- ご入金を確認でき次第、報告書を発送いたします。
- ご注文後、1週間以内にお振込ください。1週間以上かかる場合はあらかじめご連絡ください。
- お問合せ先 公益財団法人日本ユニフォームセンター
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-4-21 赤坂パレスビル5階
TEL 03-3401-2111 FAX 03-3402-2667 E-mail kenkyu@nuc.or.jp